

活動報告

あべの妖怪研究所 | 見えないものの見つけ方 |

小さな妖怪展

研究員が阿倍野のまちで採集した、新しい妖怪を初公開！

あべの
ABENO YOKAI LABORATORY
妖怪研究所

妖怪情報

名称 | 木目

特徴 | 夕方や明け方の路地裏に現れる。こげ茶色をした板塼の姿をしている。普段は寝ているが、人の足音に反応して目を覚まし、瞬きをする。

妖怪情報

名称 | ヤブカマネキ

特徴 | 真夏の昼下がりに、草木の茂る場所に現れる。まちをそぞろ歩く人々にまとわりつき、蚊をおびき寄せ、血を吸った蚊を食べるといふ。

2016.10.2(日) - 10.10(月・祝)

開館時間 = 10:00 - 17:00 (最終日は 16:00 まで)

休館日 = 会期中無休 入館料 = 無料

こども美術館 スカイミュージアム

545-6027 大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 あべのハルカス 27階

TEL : 06-6690-0907 HP : <http://kodomo-sky.jp>

主催 : こども美術館 スカイミュージアム 共催 : 日本文教出版株式会社 監修 : 市川 寛也 (筑波大学芸術系助教、妖怪研究家)

あべの妖怪研究所 - 見えないものの見つけ方 -

小さな妖怪展

「あべの妖怪研究所 - 見えないものの見つけ方 -」*では、観察力や想像力を磨きながらあべのハルカス界隈の妖怪スポットを調査してきました。本展覧会では、安倍晴明をはじめとする既存の伝承だけではなく、現代のまなざしから発見された新しい妖怪も初公開。研究員がまちを歩いて採集した妖怪を展示するとともに、ご来場いただいた皆様にも「妖怪採集」を追体験していただけます。

*《高校生とまちとアートをつなぐ》企画の第2弾。2016年7月～9月に、妖怪をテーマとした連続ワークショップを実施しました。



中高生研究員が阿倍野のまちを調査。



まちで見つけた物語のタネを基に、そこに潜む妖怪を考えます。



表現方法を工夫しながら、採集した妖怪を制作しました。

関連ワークショップ

1 歩いて、観て、想像する - 「妖怪採集」から探る授業づくり

フィールドワークを通して身の回りの環境を観察し、物語のタネを探してみれば、そこに新たな妖怪が見つかるかもしれません。まちを歩いて見えないものを想像する「妖怪採集」を体験しながら、教科の枠を超えた授業づくりの可能性を探ってみませんか？

10月8日(土) 15:30~17:30

講師：市川寛也(筑波大学助教、本展覧会監修)
対象：教育関係者
(校種・専門教科問わずご参加いただけます)
定員：10名(事前申し込み制、先着順)
参加費：無料

2 あべの妖怪研究所 体験入所

研究員がつくった妖怪マップを手に阿倍野のまちを歩きながら、自分だけの新しい妖怪を探してみよう。

10月9日(日) 13:00~15:30

対象：中学生~大人
定員：10名(事前申し込み制、先着順)
参加費：無料

関連企画

所長の図書室

会場の一画に大阪の歴史や民俗、妖怪に関する書籍が並ぶ本棚が出現！蔵書を手し、阿倍野のまちを眺めながら、のんびりとした時間を過ごしてみませんか？

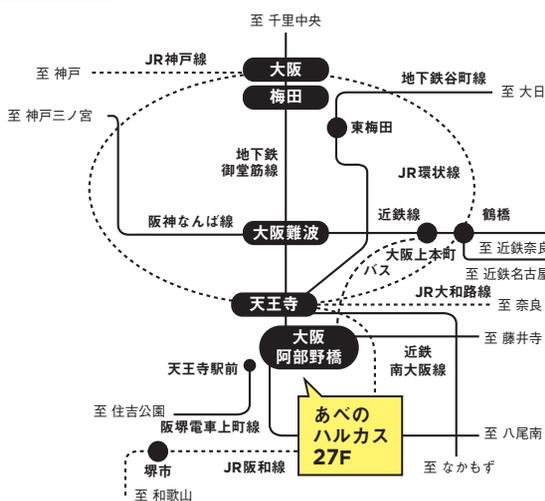
申し込み方法

以下の必要事項を明記の上、EメールまたはHPの応募フォームよりお申し込みください。

ご希望のワークショップ名/お名前/学校名・学年/お電話番号/ご住所

【E-mail】 info@kodomo-sky.jp
【HP】 <http://kodomo-sky.jp>

アクセス



近鉄「大阪阿部野橋」駅直結/JR「天王寺」駅直結/
大阪市営地下鉄御堂筋線・谷町線「天王寺」駅直結/阪堺上町線「天王寺駅前」駅下車すぐ

3 27Fで降りてすぐ。
(27Fエレベーターホールのフロアマップをご参照ください)

2 17Fで降りてロビーへ進む。
案内カウンター右横、壁面上方に「25-30」と表示のあるエレベーターホール6基どれでも27Fへ行けます。

1 JR天王寺駅とあべのハルカス(近鉄百貨店本店タワー館)をつなぐB1「ハルカスシャトル(オフィス専用エレベーター)」で17Fへ。(エレベーターホールは百貨店の外側です)

